

下諏訪力の発信、展開へ

町民の大きな期待を背負い 青木町政 新たな4年間が始動



11月20日に行われた町長選挙で、4選を果たした青木悟町長は、11月28日初登庁し、就任を祝う町民のみなさんをはじめ、町職員など大勢の方の拍手により迎えられました。

引き続き役場講堂で行われた就任式では、小林副町長の歓迎のあいさつに続き、青木町長が町職員を前に就任のあいさつをし、4期目の青木町政が始動しました。



就任のあいさつ



町庁舎玄関前で出迎えられる青木町長



いむむら きよし
岩村 清司 議員
(東山田第6・初)

町議会議員補欠選挙で当選されました。



当選証書付与式 (11月21日)

広報

No.646

小さくてもきりと
光る美しいまち

発行 下諏訪町
編集 総務課
情報防災係

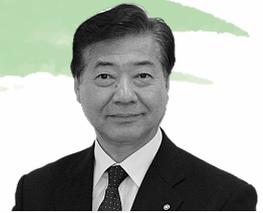
〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8
☎ 0266-27-1111
FAX 0266-28-1070

下諏訪町ホームページアドレス
<http://www.town.shimosuwa.lg.jp>
E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp

住民満足度100%の実現を目指して

～下諏訪力の「創造」から「発信、展開」へ～

下諏訪町長 青木 悟



新年あけましておめでとうございます。

2017年、新しい年を迎え、町民の皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。

このたびの任期満了に伴う下諏訪町長選挙におきましては、『下諏訪力の「創造」から「発信、展開」へ』を基本理念に掲げ、多くの町民の皆様のご理解とご支持をいただき、引き続き4期目の町政運営を担わせていただくこととなりました。町民の皆様から寄せられました期待と責任の重さに、大変身の引き締まる思いであります。愛する下諏訪町のため、決意を新たに、さらなる町政の発展に向けて、全身全霊全力で取り組んでまいりますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

3期12年の中で積み重ねてまいりました数々の思いと経験をもとに、町政4期目に向けて4つの重点目標を掲げさせていただきます。

一つ目は、「安全に、健康で暮らし続けることができるまちづくり」です。高齢者の方や障がい者の方、そして子どもたちが安心して、健康で暮らし続けられるよう、地域のニーズを踏まえ、創意工夫により柔軟なサービスを提供し、福祉施策の充実を図ってまいります。防災・減災への取り組みの重要性は、常に感じているところでありますが、この地域におきましても、甚大な被害を及ぼすおそれのある大規模な災害がいつ、何時発生するかは予測不能であります。いざという時のために、自助・共助・公助の理念のもと、自主防災組織の再編・強化を図り、より一層地域防災力を高め、住宅耐震化のさらなる促進、雨水対策事業の促進などにより、安心・安全で「防災意識日本一の町」を目指してまいります。健康という面におきまして、湖畔の健康スポーツゾーンの錬成の家改修では、健康運動指導士を配置したトレーニングルームの設置など、健康増進施設として誰もが気軽に活用できるように整備を着実に進めてまいります。また、町民の皆様のご健（検）診の受診率向上を図り、健康長寿、スポーツの町を実現していきたいと考えております。

二つ目は、「安心して子どもを産み、育てることのできるまちづくり」です。現在、日本の未来を担う子どもたちの貧困問題が深刻化しており、町では、こども未来基金を活用した教育支援に取り組んでまいります。また、子育てに関わる多くの方々のふれあいの場所であり「子育てふれあいセンターぼけっと」は、子育て世代の皆様、高齢者の皆様に大変好評をいただいているところであります。この「地域で支え合う子育て」を推進するため、子育てふれあいセンターの線路下への設置を進めてまいります。さらに、子どもたちに夢を与える事業としまして、ボート競技における、東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致を引き続き推進するとともに、中学生の海外体験研修もスタートさせ、グローバルな人材の育成を目指します。

三つ目は、「安定的に働き続けることのできる地域、まちづくり」です。活力ある産業の振興としましては、町の人口減少対策も含めまして、移住者及び定住者の増加を図るとともに、空き家、空き店舗、空き工場等の有効活用を促進するため、昨年4月、新たに移住定住促進室を設置したところでありますが、さらに事業を拡大させ、開業の支援、各種補助金の充実、新婚カップル専用の町営住宅の建設などにも幅広く取り組んでまいります。また、町では現在、星が丘の防災リハビリテーション跡地の取得を進めています。この敷地と既存施設を有効活用することにより地域コミュニティの充実を図るほか、新たな視点からテレワーク・クラフトタウンの拠点として、雇用の創出に繋がることにも期待をしております。「ものづくり支援センターしもすわ」では、新たな発想のもと支援施策を展開し、商工会議所との連携強化により、高い技術力を活かしながら商工業の発展と活性化を図ってまいります。農業におきましては、農業者の高齢化と担い手不足などにより、町の農業の衰退が危惧されております。関係機関と連携しながら、農業経営や技術に関する支援、地産地消の推進、特産品の開発、他分野との連携による農産物の販売、PR活動に力を入れていきたいと考えております。

四つ目は、「住んでいることに誇りが持てる住民主体・協働のまちづくり」です。これまで諏訪大社周辺を中心としたまち歩きの整備を継続的に進めてまいりました。今後、国史跡である星ヶ塔遺跡を再現・紹介し、黒曜石を活用した矢じりづくりなどの体験ができる（仮称）埋蔵文化財センターを整備し、隣接する諏訪湖時の科学館儀象堂と併せて、歴史と文化を体験できる歴史体験館としてまいります。こうした観光拠点施設を活かし、現在課題となっております、観光客の滞在時間の延長と観光消費額の倍増を目指すとともに、この歴史体験館を軸としたさまざまな時代を体験できるエリアを構築し、観光客の皆様にとって魅力あるまちづくりを進めてまいります。また、この町を愛する町民の皆様が、それぞれの地域を再認識し、誇りを持ち、知恵と工夫を結集していただくことで、町が誇るかけがえのない“宝”にさらに磨きをかけ、地域コミュニティを核とした住民主体・協働のまちづくりを推進してまいります。

町長選挙の際には、数々の公約を挙げさせていただき、ここではその一部をご説明させていただいたところですが、「住民満足度100%の実現！」を目指し、初心を忘れることなく、住民の皆様へ寄り添った行政サービスを常に心がけ、さらには皆様一人一人の思いと、私の思いが結実するよう、また下諏訪町に住んでいることに誇りが持てるまちづくりに邁進してまいります。

結びに、町民の皆様には、町政発展のため、さらなる一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が町民の皆様にとって良き年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。